

# 日本とは馴染みの深い花。

## < 植物名 >

### ダイアンサス

ナデシコ

総称

#### 水やり

水やりは土がいったん乾いてから行う。過湿を避ける。

#### 置き場所

日なたと水はけ、腐植質に富む用土を好む。

#### 用土肥料

多肥を避ける。

#### 植え替え

特記事項なし。

#### ふやし方

タネまき、株分け、挿し木

#### 冬越し

特記事項なし。

使い方 花壇、鉢植え、切花

学名 Dianthus

英名

属名 ナデシコ

科名 ナデシコ

性状(分類) 多年草

原産地 ヨーロッパ、アジア

花の色 ピンク、赤、白

開花期 5～6月

購入時期

草丈 15～70cm

ID 338

季節 春、夏

JFコード 14199



#### 冬越しと置き場所

耐寒性がある。日なたと水はけ、腐植質に富む用土を好む。

#### その他の解説

多肥を避ける。

#### 特徴1

日本とは馴染みが深く、秋の七草の一つになっている。水やりは土がいったん乾いてから行う。過湿を避ける。

#### 特徴2

秋の七草の一つで、日本全土の山野、川原に普通に見られる。'大和撫子'という言葉があるように、日本とは馴染みの深い花。ヨーロッパでは、ロックガーデンを彩る花として親しまれている。日本には、エゾカワラナデシコ、ハマナデシコ、シノナデシコ、ヒメハマナデシコが自生しており、一、二年草または多年草と種によってまちまちである。